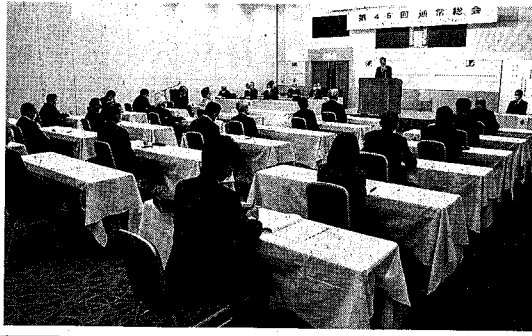


## 発注機関と意見交換へ

補償コンサル 中野支部長留任  
協会道支部総会



日本補償コンサルタン  
ト協会北海道支部(40社)  
は18日、ポールスター札  
幌で第46回通常総会を開  
き、任期満了に伴う役員  
改選で中野芳支部長が留  
任した。2022年度の  
事業として発注機関との  
意見交換会や各種研修の

体制強化への協力を呼び  
掛けた

実施などを盛り込んだ。  
中野支部長は、会員の  
支部運営への協力を感謝  
し、「21年に業務契約を

結んだ北海道新幹線札幌  
駅付近工事に伴う補償調  
査が順調に推移してい  
る。補償コンサルタント  
業界の認知度が少しでも  
高まれば」と期待した。

その上で「自然災害や  
所有者不明土地、各発注  
者の業務への対応に向  
け、研さんや成果品の品  
質確保への体制強化の取  
り組みを進めたい」とあ  
いさつした。

議事では21年度事業・  
決算報告の後、役員を選  
任。中野支部長は留任し、  
副支部長に後藤卓幹事、  
幹事に高橋宣之スコーシ  
ヤ社長と深見実男エル技  
術コンサルタント社長、  
監事に山下吉幹事と布  
村重樹ノース技研社長を  
それぞれ新任した。

22年度事業計画には発  
注機関との意見交換会の  
ほか、公共用地取得に関  
する研修などに取り組み  
ことを決めた。